



No.261
2023.3.5

四季報

発行
藤沢探鳥クラブ
代表
藤山 素子
電話 0466-25-1817



ハシビロガモ (2022年1月新林公園) 撮影: 酒井 進

<3月例会>

3月19日(日)

早戸川林道探鳥会

(平坦)

※雨天中止

宮ヶ瀬湖畔の林道を往復し、運がよければベニマシコ、ルリビタキ、ヤマセミ等に会えるかも。宮ヶ瀬バス停以外トイレはありません。

集合 本厚木駅中央改札口 8:30 神奈中バス5番乗場から宮ヶ瀬行 8:40 発に乗車

(参考 7:38 小田急藤沢発相模大野行⇒相模大野着 8:12、8:16 発小田原行⇒本厚木着 8:28)

小田急各駅で購入出来る「宮ヶ瀬ダムハイキングパス」がお得です。

持ち物 観察用具、お弁当、飲み物、雨具等

解散 宮ヶ瀬バス停で 14:00 頃

担当 青山 0466-87-2489 田中 0466-27-2384

<4月例会>

4月16日(日)

木もれびの森探鳥会

(平坦)

※雨天中止

相模野の面影を残す 73ha の広大な雑木林を約 4km 歩きます。アオゲラにも会えるかもしれません。

集合 8:15 小田急藤沢駅改札口

藤沢駅 8:25 発快速急行新宿行最後尾車両乗車 → (参考 湘南台 8:32) → 8:51 町田下車 → 9:05 J R 横浜線八王子行に乗り換え → 9:08 古淵下車 → 徒歩約 20 分 (ダイヤ改正あり要確認)

持ち物 観察用具、弁当・飲み物、マスク等

解散 14:00 頃 現地にて

担当・問い合わせ

藤山 0466-25-1817 田中 0466-27-2384

川名通年探鳥会

1月8日(日) 8:05~10:50 晴

大山 厚子

今年初めての探鳥会なのでどうしても参加したいと思い、集合場所に着くといつもより多くの人に来ていました。

風もなく、冬晴れの穏やかな日となりスタートです。

境川と柏尾川にはオオバンばかり……。河川工事の為か他のカモ類は見つからない。少しさみしいなあと思いながら清水谷戸へ行くと、アオジ、カシラダカ、モズなどが見られました。

アオジは枯草の中に入ったり出たり。カシラダカはじっと止まっていたのでよーく観察できました。

カワセミに会えないのが残念でしたが、楽しい観察会となりました。

見聞きした鳥 スズメ、ハシブトガラス、オオバン、コサギ、ヒヨドリ、ユリカモメ、カシラダカ、カワウ、ジョウビタキ、トビ、ムクドリ、イソヒヨドリ、シジュウカラ、ハシボソガラス、アオジ、キジバト、ハクセキレイ、ヒメアマツバメ、モズ、メジロ、シロハラ、ウグイス、カワラヒワ (23種)

参加者 城殿博、佐藤武、石井浩子、加藤健二、三宅泉、大石正子、吉澤真弓、下里由香、

深田太、深田ゆみ、大川俊之、中村幸男、大山厚子、飯島秀子、谷誠一、青山喜行、小室信幸、大橋温子、嶋岡章、藤山素子 (20名)

2月5日(日) 8:05~10:45 晴れ

佐藤 武

立春も過ぎ、厳しかった寒波も去り、穏やかな日和でした。川名清水谷戸では霜柱も消え、早くもタチツボスミレが一輪咲いていました。白梅も小さなポップコーンみたいな花を咲かせていました。また柏尾川でヒドリガモが求愛行動(ディスプレイ)を見せ、春を感じられました。

このような日和に誘われて色々な鳥が見られるかと期待しましたが、特に珍しい鳥は見聞きできませんでした。期待したモズやトビ以外のタカ類も姿を現わしませんでした。境川と柏尾川の合流地点の新川名橋の上空にヒメアマツバメが珍しい位の群れを成して飛び交っていました。ただ境川側は河川工事のため川幅が狭くなっていたためか水鳥が居ませんでした。それでもたっぷり日光を浴び気持ちのよい散歩でした。

見聞きした鳥 ヒドリガモ、スズメ、オオバン、ハシブトガラス、ヒヨドリ、カワラヒワ、ハクセキレイ、シジュウカラ、キジバト、コ

表紙写真説明 ハシビロガモ 新林公園 2022年1月28日撮影

思い立って新林公園に出掛けました。手前の池にカルガモ群とは離れてハシビロガモのカップルがゆっくり泳いでいました。

あのへら状の嘴でプランクトンを濾しとるなんて信じられませんね。

酒井 進

サギ、ヒメアマツバメ、トビ、ハシボソガラス、カワセミ、メジロ、ユリカモメ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、カワウ、ウグイス、カイツブリ、ムクドリ、アオサギ、ノスリ (24種) 参考 ドバト、コジュケイ

参加者 加藤健二、石井浩子、飯島秀子、青山喜行、佐藤武、城殿博、田中正信、森静子、藤本悦朗、橋本孝、谷誠一、藤山素子、嶋岡章 (13名)

酒匂川探鳥会

1月15日(日) 9:00~13:25 曇り時々霧雨

青山 喜行

夕方から雨の予報の中、鴨宮駅に8名集まりかもめ図書館横で観察の準備をして酒匂川へ出た。

土手からは河原、川、上空まで全てが見渡せるため、どこからでも何かの野鳥が見えるが、曇りで暗いのと、やはり鳥が遠い。

ミサゴやノスリ等のタカ類がトビやカラスに邪魔されながら狩りをしていた。

飯泉橋の上流の飯泉観音に立ち寄ったところ、どんど焼き(関西ではとんどと言っていた)の真っ最中で、子供の頃を懐かしく思い出した。

飯泉橋から下を見ると、なぜかこの草むらや川にはオオバンが大変多い。

右岸を河口に向かうとハシビロガモ、オナガガモなど多数の水鳥や河原の鳥に会え、鳥合わせが大変なくらい48種を数えた。

幸い傘は使わなくて済み、バスで帰路についた。



ハヤブサ 写真撮影; 田中正信

見聞きした鳥 イソヒヨドリ、モズ、セグロカモメ、ノスリ、オオバン、イカルチドリ、ヒヨドリ、ハシボソガラス、ムクドリ、ツグミ、ハシブトガラス、ハヤブサ、アオサギ、セグロセキレイ、コサギ、ダイサギ、キジバト、ジョウビタキ、コガモ、アオジ、カワウ、タヒバリ、オカヨシガモ、トビ、スズメ、カルガモ、イソシギ、ミサゴ、カワセミ、カワアイサ、ホウジロ、ウグイス、カラヒワ、ハシビロガモ、バン、ヒドリガモ、ヨシガモ、マガモ、オナガガモ、ハクセキレイ、カイツブリ、ヒメアマツバメ、チョウゲンボウ、シジュウカラ、メジロ、オオセグロカモメ、キセキレイ、オオタカ (48種)

(参考: ドバト)

参加者 青山喜行、谷誠一、城殿博、田中正信、三宅泉、小林弘子、酒井進、中村幸男 (8名)

相模沈殿池周辺探鳥会

2月19日(日) 9:45~13:30 曇時々晴れ

藤山素子

前夜からの強風とまだ雲行きがあやしい中スタートするも、時々陽光が照る暖かい一日となりました。

沈澱池ではキンクロハジロ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモが多く見られ、マガモ、オシドリ、カンムリカイツブリがそれらに続きました。比較的近距离で見られるので皆でじっくりと観察、隣接の畑地ではツグミ達が右に左にと何羽も飛び交っていました。また移動した先の木立の中では、シジュウカラ、コゲラ、メジロ、エナガ、ヤマガラを観察、小さな混群のようでした。

公園内では河津桜が見ごろを迎え、大勢の親子連れが遊び、春も近いと感じた探鳥会でした。

見聞きした鳥 ハシブトガラス、オシドリ、オオバン、キンクロハジロ、ツグミ、オカヨシガモ、マガモ、ヒドリガモ、ヨシガモ、カワウ、コガモ、カルガモ、カンムリカイツブリ、カイツブリ、アオサギ、メジロ、ダイサギ、イソシギ、シジュウカラ、カワラヒワ、ハクセキレイ、シメ、ヒヨドリ、スズメ、セグロセキレイ、キセキレイ、トビ、キジバト、ムクドリ、コゲラ、ハシボソガラス、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、モズ (35種)

参加者 大石正子、佐藤武、田中正信、城殿博、飯島秀子、藤山素子 (6名)

江の島探鳥会

1月13日(金) 晴れ 8:35~11:50
谷 誠一

江の島弁天橋船着き場先の砂浜波打ち際で、アビが一羽怪我をして居るのか頭を動かすだけで、釣り人が後ろを通ってもジーンとしていました。

カンムリカイツブリが3、4羽のグループで12羽鶴沼海岸から漁港の間に分散している。その中にアカエリカイツブリ1羽混ざっていた。20m以上の崖の木にオオタカが居ましたが、次の日、飛び立つところを写真に撮られた方からハイタカとの、訂正が有りました。①トビの半分の大きさ。②顔が歌舞伎の隈取り模様に見える。③ノドの下に縦斑がある。④飛んだ時角尾、初列風切り外から6番目の羽が7番目より突き出ている。以上の事でハイタカに決定しました。ほかの人にも同定をお願いした所、写真を見られた方からさらに早との連絡があり、お二方の観察力には感服しました。

見聞きした鳥 トビ、ハクセキレイ、アオサギ、カンムリカイツブリ、アカエリカイツブリ、ツグミ、オオバン、ヒヨドリ、アオジ、メジロ、ヒドリガモ、ハシブトガラス、キジバト、クロサギ、カワウ、ハイタカ、ハヤブサ、イソヒヨドリ、ミヤコドリ、ウミネコ、スズメ、ジョウビタキ、ウグイス、ムクドリ、シロハラ、ハシボソガラス (26種)

参加者 深田太、深田ゆみ、佐藤武、田中正信、田中一正、城殿博、吉澤真弓、高橋和也、藤山素子、中村幸男、大橋温子、森静子、谷誠一 (13名)

アビその後 藤山 素子

1月13日江の島探鳥会前後に一部の方が確認されたアビですが、私が見たときは砂浜の上で片足を伸ばしていたので傷ついていると

思っていました。一方、泳いでいたとおっしゃる方もありました。

その後、ガンカモカウンターの為片瀬漁港へ2回行きましたが、両回とも泳いでいる姿を確認しました。傷ついていない？と思われるま



す。上の写真（撮影；藤山）は、1月31日漁港内歩道部分にて眼下4～5mのところまで潜水を繰り返すアビです。今シーズン神奈川県では、まだアビの記録報告が、ないとのことでした。

2月10日（金） 雨の為 中止

遠藤笹窪谷観察会

1月28日（土） 晴れ 9：10～12：15

谷 誠一

遠藤笹窪谷は、杉花粉に覆われて赤くなった森、今にも飛び出しそうです。

遠藤笹窪谷公園遊水地や水の張ってある所は一面に氷が張っている、その上をキセキレイ、ハクセキレイが歩いていた。気温が上がり鳥の活動が多くなりシメ、ツグミ、カシラダカ等、オオタカの警戒鳴き声が聞こえ上空を舞い森の中に消えた。別の農地で茂みからタシギが飛び出し草むらに隠れた、これには驚くばかり。柿林の後に葉物野菜畑に、何時

ものノスリが居ないのが残念でした。此処は何時もよりゆっくり時間を掛けて観察をすることをお勧めします。

見聞きした鳥 モズ、カワラヒワ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、トビ、オオタカ、キセキレイ、シメ、ツグミ、シジュウカラ、カシラダカ、コゲラ、タシギ、アオジ、キジバト、ホオジロ、ハシボソガラス、メジロ、ビンズイ、スズメ（20種）

参加者 浅野牧子、大橋温子、吉澤真弓、田中正信、谷誠一（5名）

新林公園の山道を歩く会

1月10日（火） 晴れ 9:00～12:35

大橋 温子

展望台から望む富士山は、青空を背景にして新年初の山道を歩く会を祝うかのような美しさでした。冒険広場では複数のアオジの声と姿、そして久し振りにアカハラが垣間見られ、これから進む山道が期待されましたが、残念ながらその後は時折耳にするウグイスやメジロ等の声の他には、双眼鏡を熱心に覗きたくなるような場面に遭遇できませんでした。コースを通してガビチョウやコジュケイも鳴かぬ静かな山道はヤブコウジ、マンリョウ、そしてアオキなどの赤い実で彩られていましたが、その中でも初めて見たキジカクシの重たげな多くの赤い実は印象に残りました。

見聞きした鳥 ヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ、アオジ、スズメ、ハシボソガラス、トビ、ハシボソガラス、ハクセキレイ、マガモ、アカハラ、ウグイス、コゲラ、カワラヒワ、ムクドリ、キジバト（16種）

参加者 大橋温子、藤山素子、橋本孝、田中正信 (4名)

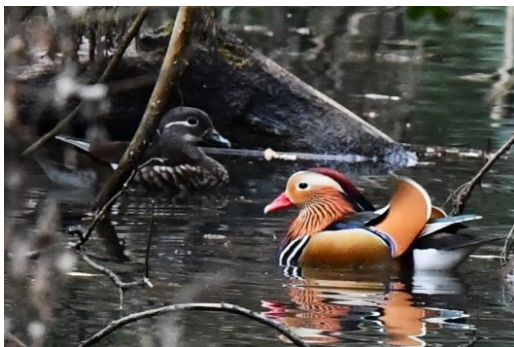
2月14日(火) 9:00~12:30 曇り

田中 正信

晴れの予報だったにもかかわらず、うす寒い曇天の冬空でしたが、山道の入り口ではアオジが5~6羽の群でお出迎え、進むとシジュウカラ、エナガ、メジロ、コゲラが混群で姿を見せてくれました。さらに赤い頭のアオゲラが縦にとまっているのを初めて見る事ができました。植物ではヒイラギナンテン、ウグイスカグラ、オニシバリの花がわずかに色づき始め、春の近づきを教えてくれました。

昨年9月以来、毎月この会で見続けている変形菌のマンジュウドロホコリは、この日も朽木に残っていました。しわ、ひび割れが先月よりさらに進み、干からびて大きさも少し縮んだ様です。来月はどうなっているでしょうか。

最後に奥の大池を覗くとカルガモ2羽、メスのマガモ3羽の奥にオシドリがペアで連れ添って泳いでおり、美しさにうっとり。藤山さんによると、新林公園大池でのオシドリは初めてとの事。エサとなるドングリも多く転



がっている新林公園ですから、これからも毎

冬姿を見せてくれるとよいのですが。(写真; 田中正信)

見聞きした鳥 ヒヨドリ、アオジ、アオゲラ、シジュウカラ、エナガ、メジロ、コゲラ、ハシブトガラス、アオサギ、オシドリ、ハシボソガラス、シメ、ダイサギ、トビ、コサギ、キジバト、カルガモ、マガモ、カワウ (19種) (参考: ドバト)

参加者 加藤健二、徳江祐子、藤山素子、橋本孝、大橋温子、田中正信 (6名)

ユリカモメカウント結果

日時 2022/12/24 10:00~10:30 晴

参加者 野崎直子、佐藤武、田中正信、小室信幸、徳江祐子、船山卓、嶋岡章、大橋温子、藤山素子、藍沢司、福田修子、谷誠一、吉澤真弓、青山喜行、城殿博

	ユリカモメ	カワウ	オオバン
1. 境川	116	20	122
2. 柏尾川	0	17	49
3. 引地川	246	10	54
計	362	47	225

1. 境川; 河口→立石橋
2. 柏尾川; 新川名橋→JR橋
3. 引地川; 河口→上河内橋

臨時引地川探鳥会

((引地川河口→しろした橋))

1月21日(土) 8:50~11:40 曇り

蓑宮 雅弘

1月21日(土)、時折射す日差しがとても有難く感じる中、3人(大橋、加藤、蓑宮)で引地川河口付近から城下橋までの約2時間かけて歩きました。特にその日はハク、セグロ、キのセキレイ3種や、沢山カワセミに会えました。カワセミはホバリングをして飛び込んだり、2羽で追いかけてっこをしたり、また引地川親水公園の先、高山橋付近では同時に3個体確認しました。そこからさらに上流の上村橋ではゴイサギの幼鳥(ホシゴイ)2羽と成鳥2羽にも会いました。ただ、ゴイサギたちを観察している時、ドバト達に続いてユリカモメが次々と現れ、あっという間に囲まれてしまった時にはいささか驚きました。頭上近くを舞ったり、欄干に並んで止まって何かを欲しがっている様子も見えました。あまりにも接近してくるので、慌ててその場から退散!ガンカモカウントの実施日変更を知らずに集まった3人で、ゴールのしろした橋までとても有意義な時間を過ごしました。大橋さん、加藤さん、お疲れ様です。有難うございました。因みにその数日後、妻と友人が上村橋あたりで、ゴイサギの成鳥1羽を見かけたそうです。

見聞きした鳥 ホシハジロ♂1♀2、カルガモ、マガモ♂1、ユリカモメ40+、ゴイサギ、メジロ、シジュウカラ、イソシギ、ハクセキレイ、キセキレイ、セグロセキレイ、カイツブリ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、オオバン、トビ、ムクドリ、ヒヨドリ、カワウ、カワセミ、

ハシボソカラス、アオジ、スズメ、イソヒヨドリ、ホオジロ、キジバト(27種)



ゴイサギ 撮影; 加藤健二

参加者 加藤健二(写真担当)、蓑宮雅弘(感想文担当)、大橋温子(記録担当)(3名)

(注) 藤山の校正不十分により個人的理由で日時変更が四季報に載らなかったこと、心からお詫びいたします。

ガンカモカウント結果

- 引地川河口～しろした橋

1/22 8:50~11:45 晴れ		
マガモ	♂ 1	
ホシハジロ	♂ 1	♀ 2
カルガモ	♂+♀ 37	
ガンカモ類計	41	

参加者6名

- 引地川河口～片瀬漁港

1/28 9:00~10:20 晴れ		
ホシハジロ		♀ 1
ガンカモ類計	1	
1/31 9:00~10:20 晴れ		
ガンカモ類計	0	

参加者1名(両日)

多々良沼探鳥会

1月29日(日) 10:00~15:30 晴れ
江面裕一



コウノトリ 撮影：田中正信

快晴の天気の中、成島駅を十時過ぎスタート。公園の周回コースを進み、ジョウビタキ、ツグミ、ホオジロなど小鳥を観察しながら、沼の見える所に到着。沼は半分近くが凍っている。

て、中央付近の水辺にカモが集まり、白さが目立つミコアイサ♂を発見。対岸の浮島弁財天の周りにはハクチョウたちも休んでいました。お昼休憩時には、タシギ、イカルチドリのシギチ類と目の前のヨシでオオジュリンやエナガの姿も。そして、上空に三羽のコウノトリがやってきて、皆大興奮。飛んでいる姿が青空に映えてとてもきれいでした。カシラダカ、シメ、ノスリを観察しながら、浮島弁財天に到着すると、カモだけでなくさらにコウノトリ二羽と、マガン三羽もいて、じっくりと観察できました。弁財天の周りでは、多数のカルガモ、コガモ、ヒドリガモに混じってヨシガモも。ガバ沼では、オオハクチョウ、コハクチョウ、オナガガモ、キンクロハジロが観察でき、多々良駅に帰る途中、チョウゲンボウ、ハイタカの猛禽類も観察することができました。約五十種の鳥に出会うことができ、とても楽しい探鳥会でした。

見聞きした鳥 キジバト、コウノトリ、ミコアイサ、オナガ、ヒヨドリ、ノスリ、ハイタカ、カシラダカ、モズ、オオジュリン、ツグミ、メジロ、ホオジロ、ウグイス、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ジョウビタキ、ムクドリ、タヒバリ、ハクセキレイ、シメ、ヒバリ、コゲラ、エナガ、シジュウカラ、イカルチドリ、タシギ、キンクロハジロ、オナガガモ、マガモ、カルガモ、カンムリカイツブリ、ヒドリガモ、マガン、コガモ、ヨシガモ、オオバン、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、オオハクチョウ、コハクチョウ、カワセミ、チョウゲンボウ、カイツブリ、アオジ、ミヤマガラス、カワラヒワ、トウネンSP、カモメSP (52種)

参加者 江面裕一、田中正信、鍋田里奈、鍋田小百合、下里由香、中村幸男、藤山素子（7名）

行事等案内

川名通年探鳥会

毎月第一日曜日

※雨天中止

4月2日（担当：橋本、未定）

5月7日（担当：藤山、未定）

集合場所

JR 藤沢駅南口名店ビル前地下道入り口付近

運営委員会報告

運営委員会では、下記の議題について討議されました。

1月8日 四季報 260 号の講評、今後の行事等

2月5日 四季報 261 号について、総会、行事予定等

確認しましょう！

◇野鳥観察・撮影時のマナー◇

「私達人間が野鳥たちの生息域にお邪魔をして、野鳥観察・撮影をさせていただいている」という気持ちで、鳥たちの生活を脅かすことなく、敬意をもって接して参りましょう。

また、観察者皆が気持ちよく野鳥観察・撮影を楽しめるよう心がけましょう。

- ① 鳥たちにストレスを与えないように野鳥との距離を取る
- ② 営巢中、育雛中の野鳥や巣へは近づかない
- ③ 音声による誘引はしない
- ④ 餌付けによる誘引はしない
- ⑤ 撮影にフラッシュ・ストロボを使用しない
- ⑥ 立ち入り禁止場所への侵入はしない
- ⑦ 私有地や団体等の所有地への侵入はしない
- ⑧ 公園等公共の場でのマナー（枝を折る・刺す等）
- ⑨ 観察者間では譲り合いの気持ちをもって
- ⑩ プライバシーを守る（双眼鏡やカメラを向けるときの配慮）
- ⑪ 環境への配慮（足元の植物、作物への気遣い）
- ⑫ 生きものの採集をしない
- ⑬ 高病原性鳥インフルエンザが発生した場合、靴の裏等に付着したウイルスを人が運んでしまう可能性があります。鳥たちの糞尿を踏んだ後は速やかに消毒を心掛けましょう。

以上、2022年4月26日（公財）日本野鳥の会「野鳥観察・撮影のガイドライン」より部分引用しました。

詳しくは、下記のホームページ「日本野鳥の会フィールドマナー」をご参照ください。

[https:// www.wbsj.org/activity/spread-and-education/bbw/manner-field/](https://www.wbsj.org/activity/spread-and-education/bbw/manner-field/)

江の島探鳥会

毎月第2金曜日 ※雨天中止

3月10日(金)・4月14日(金)

集合 8:30 解散 12:00頃

集合場所 江の島弁天橋を渡った左の公園藤棚の下

連絡先 谷 0466-34-0381

遠藤笹窪谷観察会

3月25日(土) ※雨天中止

集合 9:00 解散 12:00頃

集合場所 慶應大学バス停(旧スルガ銀行前(現在、駐車場になっています。))

連絡先 谷 0466-34-0381

新林公園の山道を歩く会

毎月第2火曜日 ※雨天中止

3月14日(火)・4月11日(火)

集合 9:00 新林公園パーゴラの下

解散 12:00頃 同上

連絡先 橋本孝 0467-85-6077

年会費について

2022年度総会決議により会費が、諸経費高騰のため2023年度より2,000円から2,400円に改定されました。ご了承ください。納入されるときにはお間違えないようにお願いします。

会費振込先；郵便為替口座番号
00230-2-38355 藤沢探鳥クラブ

郵便局以外の銀行から振り込む場合は、

ゆうちょ銀行029店 当座0038355

フジサワタンチョウクラブ

なお、探鳥会で現金でも受付ける事になりましたのでよろしくお願いします。

ご寄附のお願い

当クラブの活動運営のためにご支援をお願い致します。

藤沢探鳥クラブ連絡先等

藤山 素子 0466-25-1817

HPアドレス；

<https://fujsbwc.iimdofree.com/>



ホームページのQRコードです。スマホなどから読み取ってご覧ください。

投稿のお願い

- 以前「自然の声」を掲載していましたが立ち消えになってしまいました。クラブの皆さんが容易に投稿できるコーナーを検討中です。Q&Aのコーナーはどうかと考えていました。何か不思議に思っていることを投稿下さい。自然の声も歓迎します。先の号での疑問に対し回答を貰いました。
- Q 何で鳥には歯がないのでしょうか？に対して回答がありました。
- A カワセミという鳥も、同じように、地面に叩きつけるしぐさを見せます。捕まえた魚を叩きつけて、弱らせて

る?のだと思います。これは、(進化する中でエサを) 捕まえ易くなり、すりつぶしたり、かみ砕いたりする必要が無くなって、その代わりに飲み込む時、何回か口を開き、喉を上下に動かして、丸呑みするようになったのだと思います。(小3・鍋田小百合)

- 私もその後考えたのですが、飛ぶため抵抗を少なくするために小顔になり、歯が無くなったのかなと思いました。丸呑みで消化できるようになっているのも不思議ですね。(嶋岡)

皆さんの鳥に思う不思議を出し合ってみませんか。

会員の声

カツオドリと江ノ島付近の鳥

濱 伸二郎

江ノ島付近の鳥見は、冬期は珍しい海鳥にも出くわす藤沢の探鳥ポイントです。



カツオドリ飛び込み (撮影: 濱伸二郎)

冬は海鳥がメインですが、春や秋の渡り時期には、島内で野山の鳥の珍しい鳥に会えることがあります。島の周りの岩礁付近で

は、渡り途中のシギチドリにも出会えることがあります。

12月2日境川河口から江ノ島にかけて、初めてカツオドリに会えました。

小笠原諸島行きの船では常連の鳥ですが、藤沢では珍しい鳥だと思います。

最初は、この付近でミサゴが魚を捕るために降下して魚を捕るのを見かけるのでミサゴかなと思ってしまいました。

12月2,4日に飛んでいるカツオドリが降下して餌を捕る行動を繰り返していました。

ミサゴなら鋭い足指で魚を掴んで直ぐに飛んでいきますが、カツオドリは降下しても直ぐには飛び上がっていかなくて、水中で数秒は泳いで魚を長い大きな嘴で捕って浮き上がってきます。

海上で魚を飲み込んでいきますが、今回の観察では、一度魚を海上で飲み込んで喉が膨れる瞬間を見ました。

カツオドリは海上から直ぐに飛び上がることが出来ません。浮かび上がってから水掻きのある大きな足で水を蹴りながら助走して飛び上がっていききました。

江ノ島の南側の岩礁は今の時期にはミヤコドリ(10/28初認)、クロサギも今の時期が良く見られ10/23に見ました。ウミアイサは12/5に1羽見ました。

ミヤコドリは、東京湾内の三番瀬のように沢山見ることはありませんが1羽が餌を探っている所を見ることが出来ます。

遠くの鶴島にはウミウやカモメ類が多く休息していますが、よく見るとウミウの中にヒメウや3月頃にカモメ類の中に真っ白なシロカモメに出会えるかもしれません。

距離的には遠いので双眼鏡やプロミナーで見ることをお勧めします。潮や天候を気にして観察に行ってください。

12/9に行った時にはミヤコドリ、クロサギ、ヒメウに出会い、帰りがけに島上をトビの中にノスリが舞っていました。

江ノ島水族館の前ではミサゴが魚を捕り南方向に飛んでいきました。

☆ 追記 ☆

- 年会費について（再掲）
年間4月から翌年3月まで
二千四百円(¥2,400)です。
- 2023年度総会
藤沢探鳥クラブの活動について雑談を交え、話し合ひましょう。
ぜひご出席ください!!!

梅の開花も進み春が近づいてきた感じですが、寒暖の差が激しい今日この頃です。服装に注意して鳥を見に出かけましょう。

次号から編集担当が田中さんに代わります。ちょうど10年やらせて頂きました。皆さまのご協力に感謝いたします。(嶋岡)

投稿先を下記します、皆様のご協力をお願いします。

田中 正信(原稿)

〒251-0031 藤沢市鵜沼藤が谷 4-13-26

e-mail ; tanamasa@theia.ocn.ne.jp

電話/FAX 0466-27-2384

青山 喜行(写真)

〒252-0816 藤沢市遠藤 930-5

e-mail : aoyama-y@jcom.home.ne.jp

2023年度総会開催案内

日時：2023年4月2日(日) 10:30~13:00

場所：藤沢市民会館第2会議室

議題：

1. 2022年度事業報告
2. 2022年度会計報告
3. 監査報告
4. 2023年度事業計画
5. 2023年度予算案
6. 2023年度運営委員・会計監査選出
7. 規定改訂の件

総会終了後：懇親会